

平成21年度 第5回佐渡市行政改革推進委員会

1. 日 時 平成21年11月16日(月) 13:30～15:53
2. 場 所 佐渡市役所 会議室棟 1階 第2会議室
3. 出席者 13人

推進委員

会 長 信 田 恵 子

職務代理 中 川 英 男

委 員 伊 藤 稔

” 甲 斐 逸 枝

” 後 藤 新 一

” 山 本 初 子

” 山 本 保 孝

事 務 局

総務部行政改革課長

佐 藤 金 満

総務部行政改革課長補佐

本 間 明 夫

総務部行政改革課行政評価係長

加 藤 留 美 子

総務部行政改革課行政評価係主事

長 尾 啓 介

総務部行政改革課行革推進係長

岩 崎 徳 之

総務部行政改革課行革推進係主任

北 見 太 志

4. 会議内容

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

1) 答申書のまとめについて

2) 2009改革マニフェストの進捗状況について

3) その他

4. 今後の日程・連絡事項

・第6回行政改革推進委員会の日時と審議内容について

5. 閉会

会 議 録 (要 約 版)

1. 開会

2. 会長あいさつ

3. 議事

1) 答申書のまとめについて

【事務局】

事前に郵送した答申(案)を確認いただき、3名の委員から意見をいただいた。

①「人事考課制度の確立を図り」を「人事考課制度の実施等」に変更。

②「市と民間が共同で出資・経営する第3セクターなどについて、それらの定義の明示や団体名の公表をするとともに可能な限り経営状況に関する情報の公開を行うこと」に変更。

- ③「各種委員会や諮問機関が多くあるが、その委員会などの活動実態を把握した上で、組織の必要性や適正な構成員数等を検討する新たな項目を設けること」に変更。
- ④「自助努力」を「自己研鑽」、「潜在能力」を「意欲」に変更。
- ⑤「早めに市民の声を行政が解消する工夫が必要である。」を「早めに市民の声に耳を傾け行政が解消する工夫が必要である。」に変更。
- ⑥「行政と地域住民の意思疎通が定期的に図れるよう地域審議会の組織の見直しを検討すること。」を追加。
- ⑦「同時に改革の取り組みを市民に公表し、理解と協力を求めることは重要な課題であり、その方策について更なる工夫が不可欠であります。」を追加。

以上、変更箇所について説明。

【山本(初)委員】

- ④「意欲」と「能力」は関連性があるので、「能力」と「意欲」を併記したらどうか。

【甲斐委員】

立場によって表現が変わる。「意欲」は個人、組織としては「能力」が良いのではないかな。

【信田会長】

それでは、「職員の能力と意欲を引き出すための管理職研修も必要である。」で良いかな。

【委員】

異議なし。

【山本(初)委員】

- ③「その委員会などの活動実態を把握した上で、」とあるが、詳細に記載する必要があるかな。

【伊藤委員】

地域審議会など形骸化しており、役目を果たしていないので、記載した方が良い。

【信田会長】

変更内容で良いかな。

【委員】

異議なし。

【中川委員】

⑥地域審議会の組織を根本から見直したらどうか。住民との接点を増やすためには、地域審議会が形を変えて話をしても良いのではないかと考える。何かしらの情報提供の手段を講じないと、行き詰まりがあるのではないかということから意見した。

【甲斐委員】

地域審議会が地域の声を吸い上げて行政に生かすという流れをしっかりと作らないといけないという意見には賛成である。

【中川委員】

地域審議会はもう少しオープンにして、末端の地域へ出かけて意見交換をするような組織にしてはどうかと思う。そのあたり、携わっている課長はどのように感じているかな。

【佐藤行政改革課長】

出前市役所が各地区の問題点等を吸い上げる組織となっているので、概ねやっていると考えている。

【中川委員】

囑託員に話をすれば伝わっていると思うことは大間違いである。囑託員は順番で交代してお

り、意見集約は無理ではないか。

【山本(保)委員】

地域審議委員は地域の意見を吸い上げて意見しているわけではなく、自分の考えだけで意見を出している。逆に市が地域公民館で意見交換会を主催する方が、市民と意見交換ができる。

【信田会長】

広く市民の意見を聞いて、という部分は改革には必要不可欠なので、市への問いかけ、地域審議会の今までの在り方を考えていただきたいということで答申に追加して良いか。

【委員】

異議なし。

【中川委員】

⑦「市民に公表」に関連して聞きたいが、先日のタウンミーティングに参加できなかった市民へはどのように周知するのか。タウンミーティングを開催して住民にお知らせした、或いは報告したにはならない。地域審議会も同じである。どのようなことを審議会にかけ、それに対してどのような報告が審議会からあり、それに対して市ではどのような方向になったのかを市民に知らせるべきである。一部の人間しか知らないまま事が進むのはうまくない。

【甲斐委員】

情報開示、知らせること、知らせて参画させることが必要である。委員会を組織しているからには、意見を聞きたくて作っているのだから、情報を開示する方法を考えなければならない。

【中川委員】

文書類を省略して、ホームページということも分かるが、ホームページだけでは情報提供不足である。

【信田会長】

⑦も追加して答申しても良いか。

【委員】

異議なし。

【山本(初)委員】

「定数及び報酬の削減などを含めた組織、運営の合理化を」とあるが、組織と運営の間が「及び」が必要ではないか。

【甲斐委員】

「並びに」が良いのではないか。

【委員】

異議なし。

【信田会長】

意見をいただいたが、この内容で答申して良いか。

【委員】

特に意見なし。

2) 2009改革マニフェストの進捗状況について【資料2】

【事務局】

第2四半期が終了したことから9月末現在の進捗状況を取りまとめたものである。第2回行革推進委員会で配布した第1四半期の取組状況と比較して、各部局の取組状況を確認していた

だきたい。これらを参考に今年度マニフェストの評価資料としていただきたい。今年度マニフェストの評価は来年2月中旬を予定している。

【甲斐委員】

勸奨退職の対象年齢は何歳か。

【佐藤行政改革課長】

今年から40歳以上が対象である。

【山本(初)委員】

建設部の公園の維持管理一元化は、目標32か所、実績ゼロとあるが、どういうことか。

【佐藤行政改革課長】

今まで対応していませんでした。そのため強く指摘したところ、ようやく動き始めたところである。

【山本(初)委員】

それで自己評価Dは甘い。取り組んでいないならEである。これ以上に悪いところはない。

【甲斐委員】

保育園と学校統廃合の関係であるが、問題点は何か。

【佐藤行政改革課長】

保護者より、地域の思い入れが強く進捗が遅いと考えられる。

【山本(初)委員】

学校統合だけでなく、全てのことに関して情報公開をお願いしたい。情報開示が遅いために市民から協力が得られない部分もあると思う。

【中川委員】

目標に向かって進めるべきだが、手段についてはしっかりしていただく必要がある。

【佐藤行政改革課長】

各部署には伝える。

3) その他

特になし。

4. 今後の日程・連絡事項

- ・第6回行政改革推進委員会の日時と審議内容について

日時：平成22年2月中旬から下旬（詳細は後日、会長と決定）

会場：本庁

内容：2009改革マニフェストの中間評価について

5. 閉会